

## グローバル競争に勝ち残るゴム・エラストマー技術

主催：一般社団法人日本ゴム協会  
協賛：日本化学会，高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本機械学会，日本接着学会  
(予定) 日本合成樹脂技術協会，日本材料学会，日本複合材料学会，プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会（順不同）

第53回夏期講座を来る7月12日・13日の2日間、「広島県情報プラザ」で開催いたします。

今、ゴム・エラストマー産業の主要顧客である自動車産業は、100年に一度と言われる歴史的大変革期を迎えています。今回は急速な変化に対応しつつ、我が国発の素材と材料技術を活かした、グローバルでの競争優位の実現に向けて、各分野のフロントランナーの方々に講師をお願いしました。また、独自の技術・設計戦略で巨大メーカーに伍してイノベーションをリードし、ファンから強い共感を得ているマツダ(株)と、現広島市市街地となっている太田川デルタの形成原因ともいわれる「たたら製鉄」について、特別講演がございます。ミキサーでは、瀬戸内の美しい夜景とともに東広島市西条の名産品もご堪能いただけますので、多数のご参加をお待ちしております。

開催日：2018年7月12日（木）・13日（金）

場所：講座：広島県情報プラザ・第1研修室（広島市中区千田町3-7-47，TEL：082-240-7700）

ミキサー：グランドプリンスホテル広島（広島市南区元宇品町23-1，TEL：082-256-1111）

定員：80名 定員になり次第締切ります

受講料：（6月15日（金）まで） 会員29,160円，会員外45,360円，学生会員5,400円

シニア14,580円（60歳以上の正会員）

（6月16日（土）以降） 会員34,560円，会員外45,360円，学生会員5,400円

シニア17,280円（60歳以上の正会員）

※消費税とテキスト代を含みます。賛助会員・協賛団体会員は2名まで会員扱いとします。

ミキサー参加費：7,000円（税込）

申込方法：ホームページ <http://www.srij.or.jp> よりお申込みください。

送金方法：郵便振替「00190-1-48393」または銀行振込（三井住友銀行日比谷支店（普通）No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）あてにご送金ください（送金手数料は受講者側でご負担ください）。

一度ご入金された受講料は返金いたしかねますので予めご了承ください。

問合せ先：一般社団法人日本ゴム協会 第53回夏期講座係 TEL：03-3401-2957 E-mail：sugano@srij.or.jp

| 日時          | 演題   | 講師  |
|-------------|--|---|
| 【7月12日（木）】  |  |   |
| 10：30～      | 開講のあいさつ  | 一般社団法人日本ゴム協会会長 高田十志和<br>【座長】住友ゴム工業(株) 溝口 哲朗 |
| 10：35～11：35 | セルロースナノファイバーについて<br>産業技術総合研究所 中国センター セルロース材料グループ 主任研究員 伊藤 弘和氏<br>セルロースナノファイバーの製造から利用および評価に関して説明する。   |   |
| 11：45～12：45 | ゴム練りの現場を取巻く諸課題とゴム練り状態評価について<br>鬼怒川ゴム工業(株) 技術開発担当フェロー 小薬 次郎氏<br>ゴム加工の現場では、配合やゴム練りが原因となる問題や課題が多く見られる。30余年にわたってゴム練りの現場に携わった経験に基づきゴムの精練加工における課題と取組みに関し、出来る限り現場目線で解説したい。                            |   |
| 13：55～14：55 | スーパーグロス単層ナノチューブの特長と用途開発状況について<br>産業技術総合研究所 つくばセンター ナノチューブ実用化研究センター 招聘研究員 友納 茂樹氏<br>産総研にて開発されたナノカーボンの材料であるスーパーグロス単層ナノチューブについて、その特長と用途開発状況にて講演する。<br>従来のナノチューブが保持しない特徴からゴム，樹脂，金属材料分野で用途展開が開けている。 | 【座長】西川ゴム工業(株) 橋本 邦彦                         |
| 15：05～16：20 | （特別講演①）SKYACTIVエンジン開発の志<br>マツダ(株) 常務執行役員 人見 光夫氏<br>マツダは内燃機関に注力すると宣言しSKYACTIV エンジンを開発し商品化してきた。その開発に至るまでの経緯と今後内燃機関でどこまで改善しようとしているかを説明する。また開発に賭けるマツダの志についても言及する。                                  | 【座長】東京工業大学 高田十志和                            |
| 16：30～17：45 | （特別講演②）中国山地とたたら製鉄業の歴史<br>広島県立大学名誉教授 野原 建一氏<br>中国地方のたたら製鉄業の歴史と産業史的にどのような意義があったのかを古代から現代にいたるまでの概略と技術史的意義についてもお話しできればと考えている。  |   |
| 18：30～20：00 | ミキサー   |   |



【7月13日（金）】

【座長】東京農工大学 斎藤 拓

9：30～10：30 自動車タイヤ用ブタジエン系エラストマーの開発動向

JSR(株) 四日市研究センター 機能高分子研究所 主任研究員 曾根 卓男氏

ジエン系エラストマーは自動車用途を中心にさまざまな工業製品に使われ、発展してきた。本講演では、自動車タイヤに使用される変性SBRを中心にブタジエン系エラストマーの技術開発の動向を紹介する。

10：40～11：40 ソフトマテリアルの異常現象の解析と分析

(株)東ソー分析センター 営業部 部長 高取 永一氏

合成樹脂系のソフトマテリアルについての劣化などによる破断や異物派生などの異常現象についての解析・分析例を紹介する。前処理法、視覚による解析例、分光学的方法、分離分析、力学的な現象解析や分析について口述する。

11：50～12：50 ポリロタキサンを用いたエラストマー材料の強靱化

東京大学 新領域創成科学研究科 助教 眞弓 皓一氏

ポリロタキサンにおける環状分子が軸高分子をスライドする運動自由度を生かすことでゴム・ゲル材料の強靱化を実現した事例について発表する。

【座長】近畿大学 白石 浩平

14：00～15：00 スポーツ用ボールの開発と製造方法

(株)ミカサ 執行役員 小川龍太郎氏

バレーボールやサッカーボール、バスケットボールをはじめとするスポーツボールの基本構造、バレーボールを中心としたボールの歴史、及び製造方法について解説する。

15：10～16：40 材料モデルベース研究に基づくマツダのモノづくり革新

広島大学 次世代自動車共同研究講座 先端材料研究室 教授 甲斐 裕之氏

原子・分子スケールまで踏み込みモデル化する材料モデルベース研究に基づくモノづくり革新の考え方と自動車開発への適用事例（ゴム/プラスチック製品）を紹介する。

16：45～ 閉講のあいさつ

第53回夏期講座運営委員会委員長 溝口 哲朗

※プログラムは一部変更になる場合もございます。また、ご宿泊は各自でご手配ください。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いいたします。